

環境 みらい

2013



4

発行所

NPO法人環境みらい下関

〒751-0847 下関市古屋町一丁目18番1号

Tel (083) 252-7220

Fax (083) 252-7222

www.kankyo-mirai.jp

vol. 118

contents

- 巻頭コラム「里山活動に参加して」
- 4月のリサイクル教室のご案内
- リサイクル教室のご紹介

monthly column

里山活動に参加して

NPO 法人環境みらい下関

理事 秋本秀雄

(森林ボランティア「ふくの森の会」)

ここ最近各種メディアの報道等で「環境保全」とか私たちは「自然に生かされている」とか言われています。

しかし自然環境保護等で行われているほど、言うことと実行面で無関心な人が多いように思われます。

私は、森林ボランティア「ふくの森の会」に参加することで、少しでも自然環境活動に寄与できると思い会に参加しました。

「ふくの森の会」目標及び理念

里山の保全活動をととして「山に活力を!」

「自然に活力を!」取り戻して、我々や子供たちが生きてゆく空間を豊かにするものです。

活動場所は下関市内日平原(内日ダム湖畔山林 2.15ヘクタール)を活動基地として里山活動しています。設立は2000年1月で13年目に入ります。当初山は竹藪と雑木で人間が入る余地がないほど荒れていました。この荒れた山を会員と・市民等の力を借りて「延本数 3,469本」の落葉紅葉樹(クヌギ等)を植樹しました。これらの樹木は鹿・イノシシ等の食害で全て育ったわけではありませんが、今では山は立派な里山風になりました。この変わった里山が山にすむ野鳥・獣・昆虫たちの安心できる生活の場にも提供することができるようになりました。

また山に降った雨水は落ち葉・腐葉土に溜り、徐々に養分の多い水となり川に流れて川に住む魚・微生物を元気にする元になります。



ふくの森植樹祭

また山に降った雨水は落ち葉・腐葉土に溜り、徐々に養分の多い水となり川に流れて川に住む魚・微生物を元気にする元になります。

また海に流れた水も海に住む魚介類を元気にするカンフル剤になり自然界の食物連鎖を活発化して、我々生活環境の改善にも役立っているように思います。



森の家での活動

私たちの力は小さくとも、生活する人たちが草木1本でもゴミ一つでも一粒でも環境美化に役立つ努力をすれば必ず山は町は見違えるようになり美しい桃源郷が戻ってくると思います。

私は美しい光景を夢見ながら里山活動に努力しています。

(2013.3.21)

4月のリサイクル教室のご案内

曜日	日時	講座名 講師名	講座内容
火	2日 10～15時	組みひも 津森 美智子	古布及び毛糸などを利用して、帯締めや各種ヒモ類を作ります。 持参する物:参加料 400円・裂き布・毛糸など・昼食 定員:4名
	9日・23日 10～12時	着付け 津森 美智子	「着る」「着せる」を貴方の目的やペースに応じてご指導いたします。 持参する物:参加料 400円・着物・帯・その他小物 定員:10名(2日間参加できる方限定)
	9日・23日 13～15時	和服のリサイクル 芳川 妙子	古着物や古帯を利用して、オリジナル作品を作ってみませんか。 持参する物:参加料 400円・ゆかた・着物・帯・裁縫道具 定員:10名(2日間参加できる方限定)
	9日 10～12時	廃食油で石けん作り 福井 和恵	ご家庭の廃食油を材料にして石けんを作ります。 持参する物:参加料 150円・エプロン 定員:20名
水	3日・17日 10～12時	布あそび 森田 芙路恵	古布で、今着たい服を作ります。 持参する物:参加料 400円・不用の布・裁縫道具 定員:15名
	17日 13～16時	古布でぞうり作り 佐藤 緑	持参する物:参加料 400円・30cmものさし・はさみ・洗濯バサミ 2個 綿で縦布(幅 10cm、長さ 60cm)40本 (幅 9cm、長さ 75cm)1本 (幅 2cm、長さ 35cm)4本 (幅 6cm、長さ 45cm)1本 定員:10名 4月19日と2日間できる方限定。
木	4日・18日 10～14時	古布で小物 永岡 ハツエ	古布で「季節の小物」を作ります。 持参する物:参加料400円(材料代別)・裁縫道具・手芸用ボンド・軽食 定員:10名(2日間参加できる方限定)
	11日・25日 10～12時	パッチワーク 小笠原 典子	ミニタペストリー・バッグ・小物などを作ります。 持参する物:参加料 400円・裁縫道具・材料のハギレ 定員:10名
	11日・25日 13～15時	毛糸で小物 内田 チズ子	最初はあまり毛糸でタワシを作ります。 持参する物:参加料 400円・中細くらいの毛糸・カギ針 4～5号 定員:10名
	11日・25日 13～16時	表具 森 宏司	掛け軸や色紙掛けを作ります。 持参する物:参加料 400円(材料代別) 定員:5名(2日間参加できる方限定)
金	19日 13～16時	古布でぞうり作り 佐藤 緑	17日の続きから編みます。 2日間参加できる方限定。
	12日・26日 10～12時	裂き織り 小笠原 典子	木綿や絹の古着を裂いて、バッグ・インテリアグッズを作ります。 持参する物:参加料 600円・木綿や絹の古着・ハサミ 定員:8名 ※編み機持参者可※参加料は同じです
	12日 10～15時	染色 新田 悦子	綿布製手揚げ袋と綿糸をタマネギ皮で染めます。 持参する物:参加料:1,000円、エプロン、ゴム手袋、昼食 定員:8名
土	13日・27日 10～14時	竹細工 竹取り物語	竹材を利用して竹トンボなどを作ります。 持参する物:参加料:400円 定員:10名
	6日・20日 10～12時	布のリフォーム 高田 和代	古い着物や衣類を蘇らせ、自分だけの一着を作ります。 持参する物:参加料 400円・裁縫道具・解いた服や着物 定員:10名
日	14日・28日 10～12時	ガラス工芸 木下 照親	ガラスに砂を吹き付け削り、オリジナル絵柄作品を作ります。 持参する物:参加料:1回 400円・ガラス製のコップ・鉛筆 定員:10名
	7日 10～12時	ベランダ菜園 久田 豊樹	ベランダ菜園土づくりについて講話 持参する物:参加無料、特に指定なし 定員:10名

◎教室の申込み方法◎

4月2日(火)午前10時～電話受付を開始します

<申込みが少数の場合及び、講師の都合等により中止や延期になる場合がありますので、ご了承ください>



「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律」の施行と、下関市の取り組み

「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律」(平成24年法律第57号、以下「法」という。)が、平成25年4月から施行されます。法の施行に先行して、国による小型家電リサイクルシステム実証事業などに参加している自治体もありますが、小型家電等の再資源化を担うことになる認定事業者の認定は、平成25年6月位になると聞いています。

ところで、下関市では、平成20年のリーマンショックによる世界的不況・資源価格暴落により、下関市リサイクルプラザに搬入される粗大ごみや不燃ごみの大部分を機械で破砕し、その中から回収した破砕鉄がお金を払わないと引き取らないと言われる事態に直面したことなどを受け、平成20年秋頃から、他市の例も参考にしながら、市民負担が大きくなるように、自転車や金属・家電製品等の破砕を止めるなど粗大ごみ等処理業務の改善、新たな資源化物の売却に取り組んできました。

その取り組みの一つに、家電雑品等(特定家庭用機器を除く家電製品。)の破砕・解体を止め、手選別後、まとめて売却することで、買取業者を通して、引き取り後の価値を高め、効率的な再資源化に繋げるという見直しがあり、平成21年1月頃から、順次実施してきました。



▲再生資源「家電雑品等」として別途売却される
廃棄家電

この家電雑品等の手選別を、法対象品目とそれ以外の品目への手選別に変更するには、新たな保管スペース確保や選別人員増員が必要になるなど、経費の大幅増、つまり、市民負担の大幅増が見込まれます。そのため、小型家電リサイクルについては、現在のところ、処理施設における選別のみによる本格的な取り組みは、考えていません。しかしながら、環境施設課では、法の制定を想定し、平成23年度後半から、下関市リサイクルプラザなどの各施設において、携帯電話、携帯型ゲーム機、リモコンなどの一部の選別に、試験的に取り組んでいました。そこで、法の趣旨に配慮しつつ、現在の試験的取り組みの見直しで対応できる範囲で、市民負担を抑制できるように、条件付き一般競争入札による売却をしていく予定です。



▲試験的取り組みで、分別保管できた『携帯電話』



▲試験的取り組みで、分別保管できた『家庭用ゲーム機』

リサイクル教室のご紹介

廃食油で石けん作り教室

家庭から出る廃食油を利用して
環境にやさしい石鹸を作ってみませんか。

固形タイプとプリンのように柔らかいタイプの2種類が出来ます。

用途としては、台所(食器洗い用、茶渋、ガステーブル、換気扇、ステンレス流し台、蛇口等)、洗面所(洗面台の洗浄、浴室内の洗面器や風呂用の椅子、タイルやバスタブの掃除)、その他(洗濯時の洋服の襟汚れ袖口の汚れ、靴下、運動靴、コンクリート苔直接塗りつけて洗う)等で使用できます。



- 日 時 : 毎月第2火曜日
(週が変更になることもあります)
- 時 間 : 10時~12時
- 参 加 料 : 1回150円
- 定 員 : 20人
- 持 産 物 : 牛乳パック、エプロン
手袋、マスク、コーヒー等の空き瓶
- 講 師 : 福井和恵
- 備 考 : エプロン以外はあれば構いません



ボランティアの募集をしています

今年度より、下関市生涯学習まちづくり「出前講座」に「207 環境教室」として「牛乳パックでハガキ作り(紙すき)、新聞紙などでエコバック作りを体験し、ごみの減量を考えます。」の内容で登録いたしました。

登録後、この講座に多くのお問い合わせ等(当法人に)頂いており、今後もご要望にお応えするためにも、一緒に活動頂けるボランティアの方の力が必要です。

ご希望の方は、NPO法人環境みらい下関(Tel.083-252-7220)へお問い合わせください



しものせき環境みらい館

は、

「見て」「聞いて」「触れて」「楽しみながら」
リサイクルの体験・学習ができます。



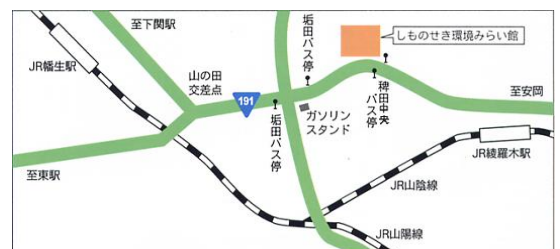
【ご利用案内】

開館時間 10:00~17:00

休館日 月曜日(祝日の場合は開館し翌日休館)

・バスをご利用の方

下関方面「垢田」、川棚方面「稗田中央」より徒歩 約5分



しものせき環境みらい館

751-0847 下関市古屋町一丁目 18 番 1 号
tel.(083)252-7220 fax.(083)252-7222
URL:<http://www.kankyo-mirai.jp>
Mail:eco@kankyo-mirai.jp
NPO法人環境みらい下関